

都小社6年部会提案

令和4年2月18日（金）
於 台東区立忍岡小学校

6年部会 目指す児童像

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の**確かな理解**を基に、社会的事象の意味や特色について**多角的に考え**、我が国の**未来を考**
えようとする子供の育成

6年部会 目指す児童像

多角的な思考

政治の働きや歴史の展開、国際社会における我が国の役割などを様々な立場から考えること。

確かな理解

我が国の政治の仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、国際社会における我が国の役割について理解すること。



未来を考えようとする

新たな問いを見出し、社会の発展や関わりを考えようとする姿

6年部会 研究仮説

我が国の政治、歴史、国際社会における役割の
確かな理解につながる**問い**や、学習したことを
基によりよい社会をつくろうとするための**問い**
をもてるように**教材**や**学習活動**を工夫すれば、
多角的に考え、我が国の未来を担う国民として
の自覚をもとうとする子供が育つであろう。

6年部会 研究の内容

①主体的に問いを追究する工夫

- ・ 子供が問いをもち追究意欲を高める工夫
- ・ 問いの連続性や構造化

②社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

- ・ 比較・分類したり総合したり、国民（地域）の生活と関連付けたりして考える学習活動の工夫
- ・ 対話を通して多角的に考える学習活動の工夫

③子供の学びを確かにする評価の工夫

- ・ 学習の見通しと振り返りの工夫

6年部会 研究の内容

教材の分析の視点

- ・ 時間的・空間的・相互関係的な視点から視野を広げる
教材開発
- ・ 社会の課題を把握し、発展や関わり方を考えることにつながるような教材の工夫

6年部会 今年度の実践

10月 世田谷区立烏山小学校 藤井祐太先生
「江戸幕府と政治の安定」

12月 八王子市立元八王子小学校 田口伸秀先生
「平和で豊かな暮らしを目指して」

第6学年

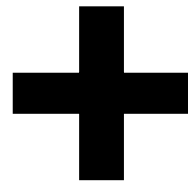
江戸幕府と政治の安定

世田谷区立烏山小学校

藤井 祐太

実践の意図

「江戸幕府によって、武士による政治が安定した。」



「政治の中心が今の東京である江戸にきた！」
「東京のまちはどのように変わっていったのかな？」

手立て

(1) 子どもが問いをもち、追究意欲を高める工夫

研究内容①主体的に問いを追究する工夫

(2) 比較・分類・総合したりして考える学習活動の工夫

研究内容②社会的事象の見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

(3) 問いの連続性や構造化

研究内容①主体的に問いを追究する工夫

(1) 子どもが問いをもち、追究意欲を高める工夫

豊臣氏の政権
(18年)

江戸幕府
(264年)

室町時代の戦さ
(300以上)

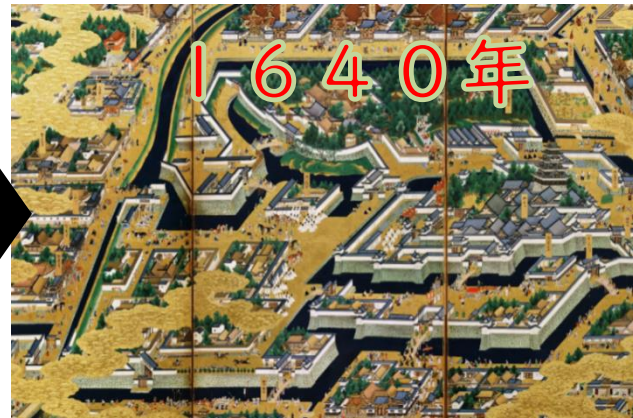
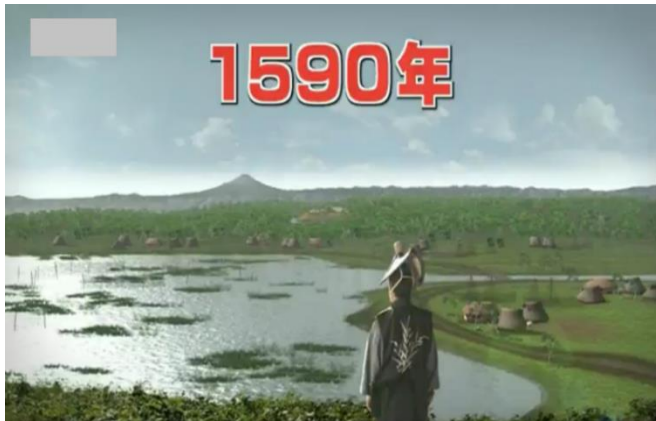
江戸時代
(50以下)

どうして
こんなに長く
続いたの？



どうして戦
さが減った
の？

どうやってこんなに
発展させたの？



学習問題

江戸幕府は、どのようにして
平和で長く続いた世の中を
築くことができたのだろう。



(1) 子どもが問いをもち追究意欲を高める工夫

学習問題

江戸幕府は、どのようにして
平和で長く続いた世の中を
築くことができたのだろう。

江戸の埋め立て
工事を行っている。
まちづくりをして
基礎を築いたのかな？



1590年	豊臣秀吉の命令で、徳川家康が江戸に移る。	
1600年	関ヶ原の戦いで、徳川家康が石田三成(いしだみつなり)を破る。	
1603年	家康が江戸に幕府を開く。 江戸の地の埋め立て工事が始まる。	
1612年	キリスト教が禁止される。	
1615年	武家(ぶけ)諸法度(しょはつと)が定められる。	
1623年	徳川家光(いえみつ)が3代将軍になる。	
1635年	武家諸法度に参勤(さんきん)交代(こうたい)の制度が新たに加えられる。	
1656年	江戸城の修理の仕事を大名に命じる。	
1677年	島原(しまばら)・天草(あまくさ)一揆(いっき)(人々の反乱)が起こる。	
1689年	鎖国(さこく)が完成する。	
1701年	利根川(とねがわ)の工事が終わる。	
2021年	私たちが暮らす東京。	

(2) 比較・分類・総合したりして考える学習活動の工夫

利根川を曲げる工事



時間的

空間的

水害に強くなった。湿地が減り住みやすくなった。

お濠は敵から守るため。商売が盛んになった。

土地の埋め立て・運河づくり

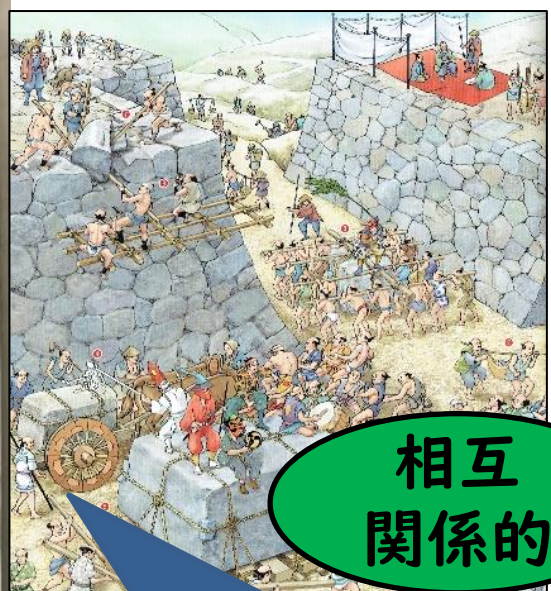
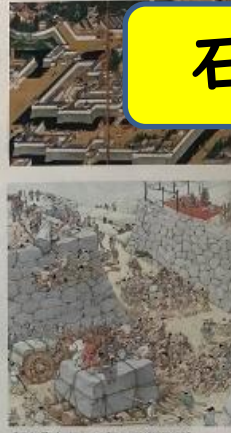


時間的



空間的

石垣づくりと天下普請



相互关系的

大名の力を使って石垣をつくらせている。

(3) 問いの連続性や構造化

学習問題 江戸幕府は、どのようにして平和で長く続いた世の中を築くことができたのだろう。

問い① 江戸幕府は、江戸のまちづくりをどのように行ったのだろう。

問い② 江戸幕府は、どのようにして多くの大名を従えたのだろう。

問い③ 江戸幕府は、人々に対してどのような政策をとったのだろう。

問い④ 江戸幕府は、外国とどのように関わったのだろう。

まとめ 学習問題に対する考えをまとめる。

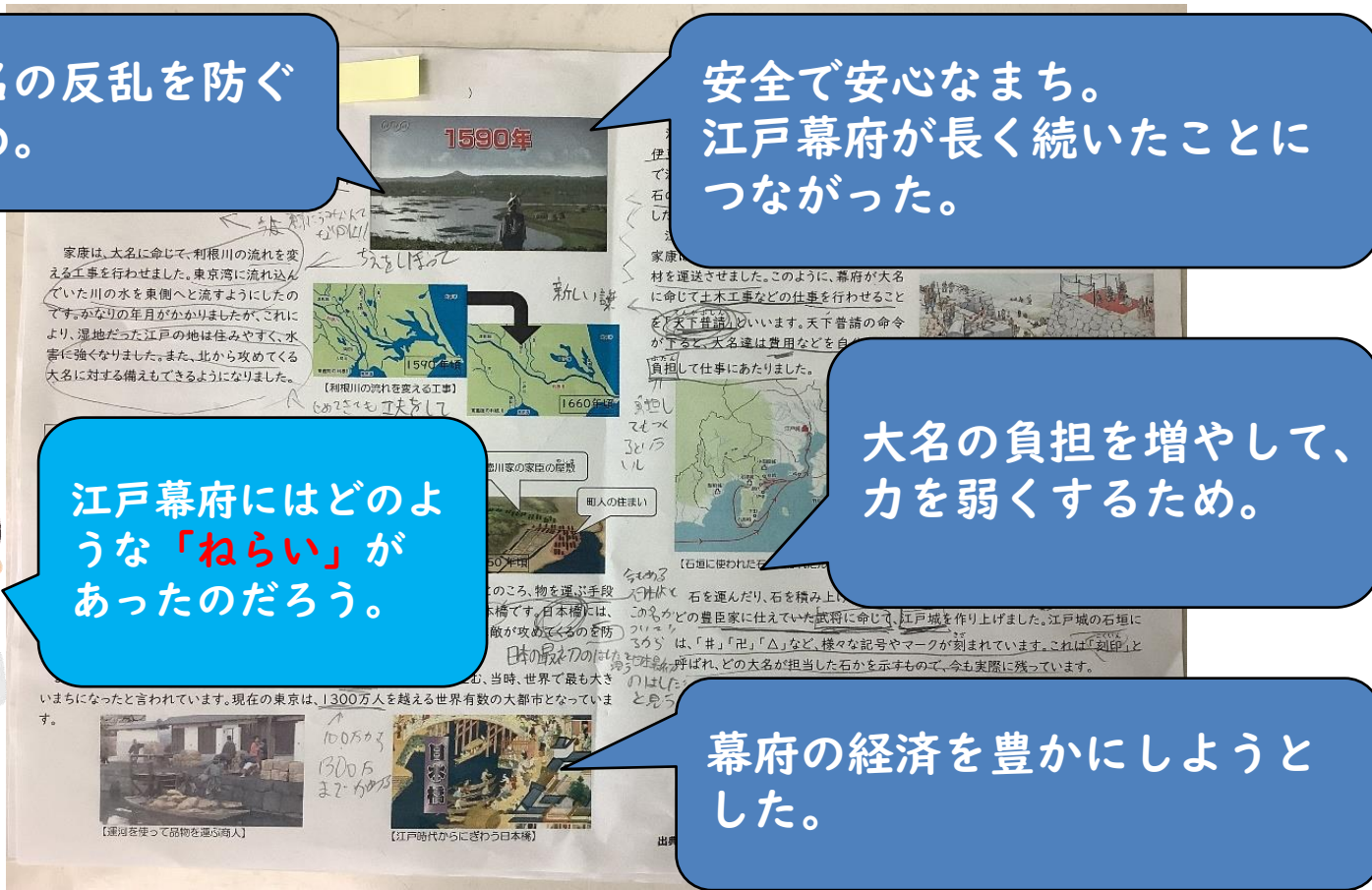
大名の反乱を防ぐため。

安全で安心なまち。江戸幕府が長く続いたことにつながった。

江戸幕府にはどのような「ねらい」があったのだろう。

大名の負担を増やして、力を弱くするため。

幕府の経済を豊かにしようとした。



本小単元の児童の振り返り

江戸幕府によって、武士による政治が安定した
江戸幕府の政策は奥が深いし、賢い

江戸のまちづくりは未来につながるものだった。
未来とは今の2021年。



今の東京は、昔の人の努力があったのものだと感じた。
昔の人に感謝したい。

江戸幕府の政治や江戸時代の文化が、今の東京にも残っている
歴史で学んだことが、現在にもつながっている

第6学年

平和で豊かな暮らしを目指して

八王子市立元八王子小学校

田口 伸秀

平和で豊かな暮らしを目指して

ねらい

- 戦後、我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。
- 外国との関係や国民生活の課題から、**これからの我が国のあり方を考えられるようにすること。**

平和で豊かな暮らしを目指して

目指す児童の姿

- 過去の出来事と現在の自分たちの生活や社会との関わりや、**歴史から学んだことを現在及び将来どのように生かしていくかなど**国家や社会の発展を考えようとする児童。

平和で豊かな暮らしを目指して

手立て

- 研究内容① 主体的に問いを追究する工夫
(問いの連続性や構造化)
- 研究内容② 見方・考え方が働く学習活動の工夫
(国民の生活と関連付けて考える研究内容)

研究内容① 問いの連続性や構造化

国や国民の立場から調べる問いの工夫

学習問題

戦後の**日本は**、どのようにして発展したのだろうか。

しらべる

戦後の**日本は**、どのような国を目指したのだろうか。 また、**国民生活**はどのように変わったのだろうか。

戦後の**日本は**、どのように国際社会に復帰したのだろうか。

戦後の**日本は**、どのように産業を発展させたのだろうか。また、**国民生活**はどのように変わったのだろうか。

まとめる

戦後の**日本は**、どのようにして発展したのだろうか。

つなぐ

現在の**日本には**、どのような課題があるのだろうか。 (米国や近隣諸国との関係)

現在の**日本には**、どのような課題があるのだろうか。 (日本国内における課題)

研究内容② 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

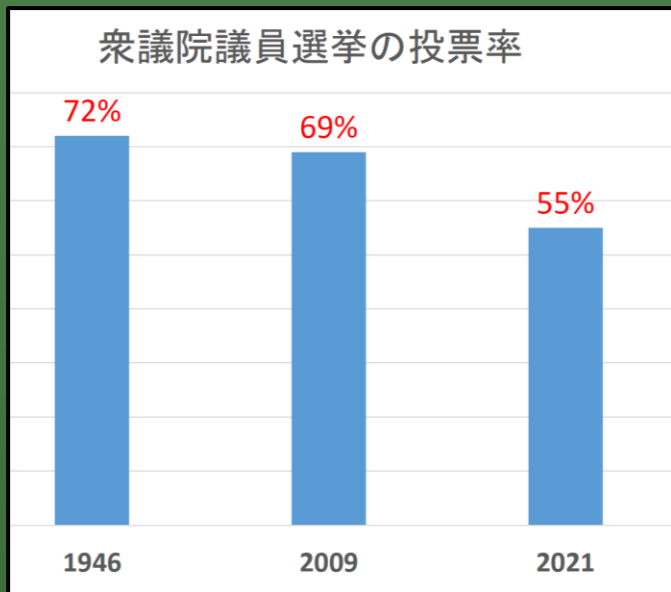
現在の日本の民主政治の課題から、これからの日本の政治への関わり方を考える。

問い 日本にはどのような課題があるのか

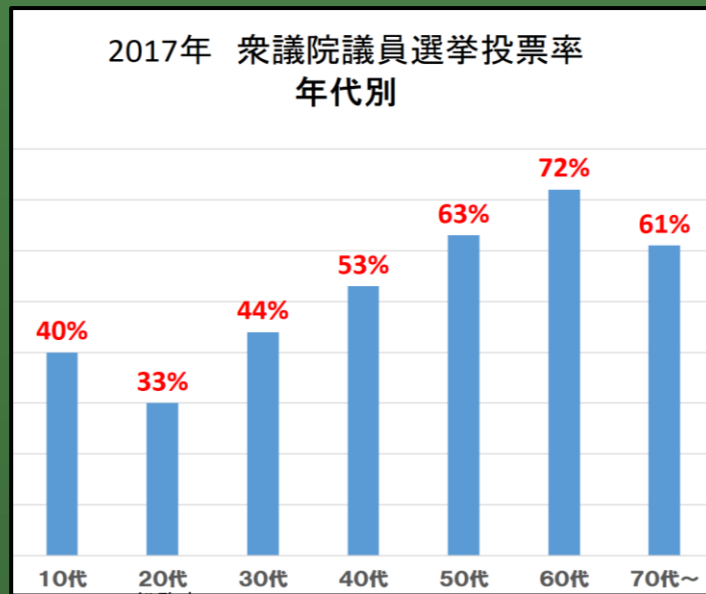
少子高齢化対策 新型コロナウイルス対策 選挙の投票率の問題

働き方、失業率、都市への人口集中、人口減

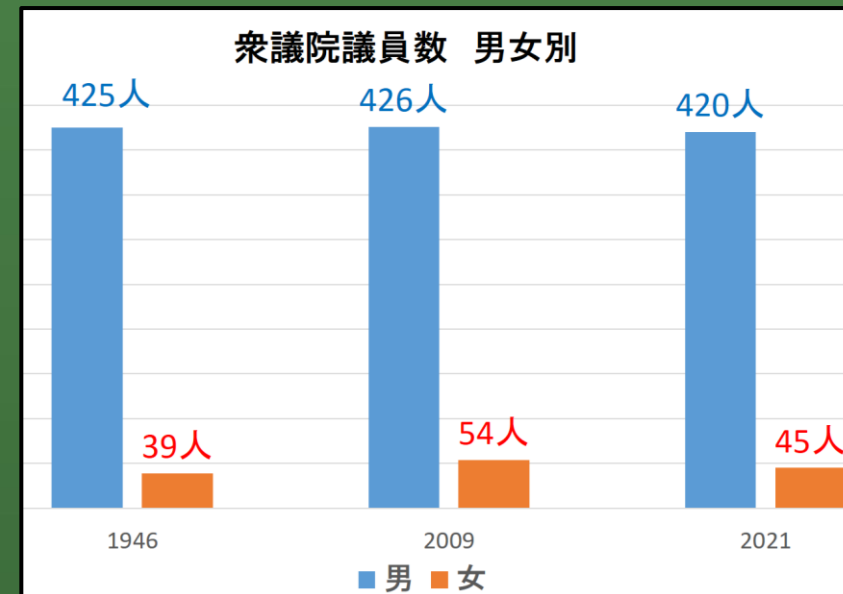
地球温暖化、環境問題への取り組み



投票率が下がっている。



若い人の投票率が低い
高年齢者の投票率が高い。



ほとんど男性の議員で、女性の議員の数が少ない。

女性の議員の数は、昔から低く、現在も大きな変化がない



選挙権 25歳 → 20歳以上

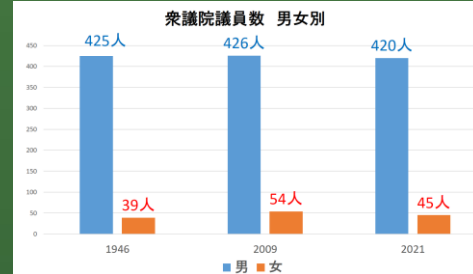
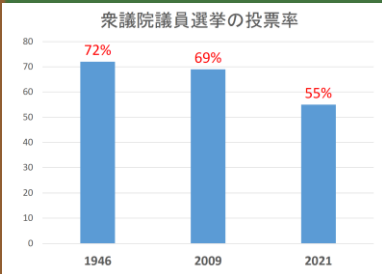
男女に選挙権

日本国憲法ができた。 → 国民主権・基本的人権の尊重

学習問題 日本にはどのような課題があるのか

少子高齢化対策 新型コロナウイルス対策 **選挙の投票率の問題**
働き方、失業率、都市への人口集中、人口減への取り組み

この状況がずっとと日本はどうなりそう？



投票率が下がっている。

高齢者の投票率が高い。
若い人の投票率が低い

ほとんど男性の議員で、女性の議員の数が少ない。

女性の議員の数は、昔から低く、現在も大きな変化がない



選挙権 25歳 → 20歳以上

男女に選挙権

日本国憲法ができた。



国民主権・基本的人権の尊重

時間、様々な立場の人
歴史の単元の視点

この状況が続くと日本はどうなりそう？

さらに投票率が下がる

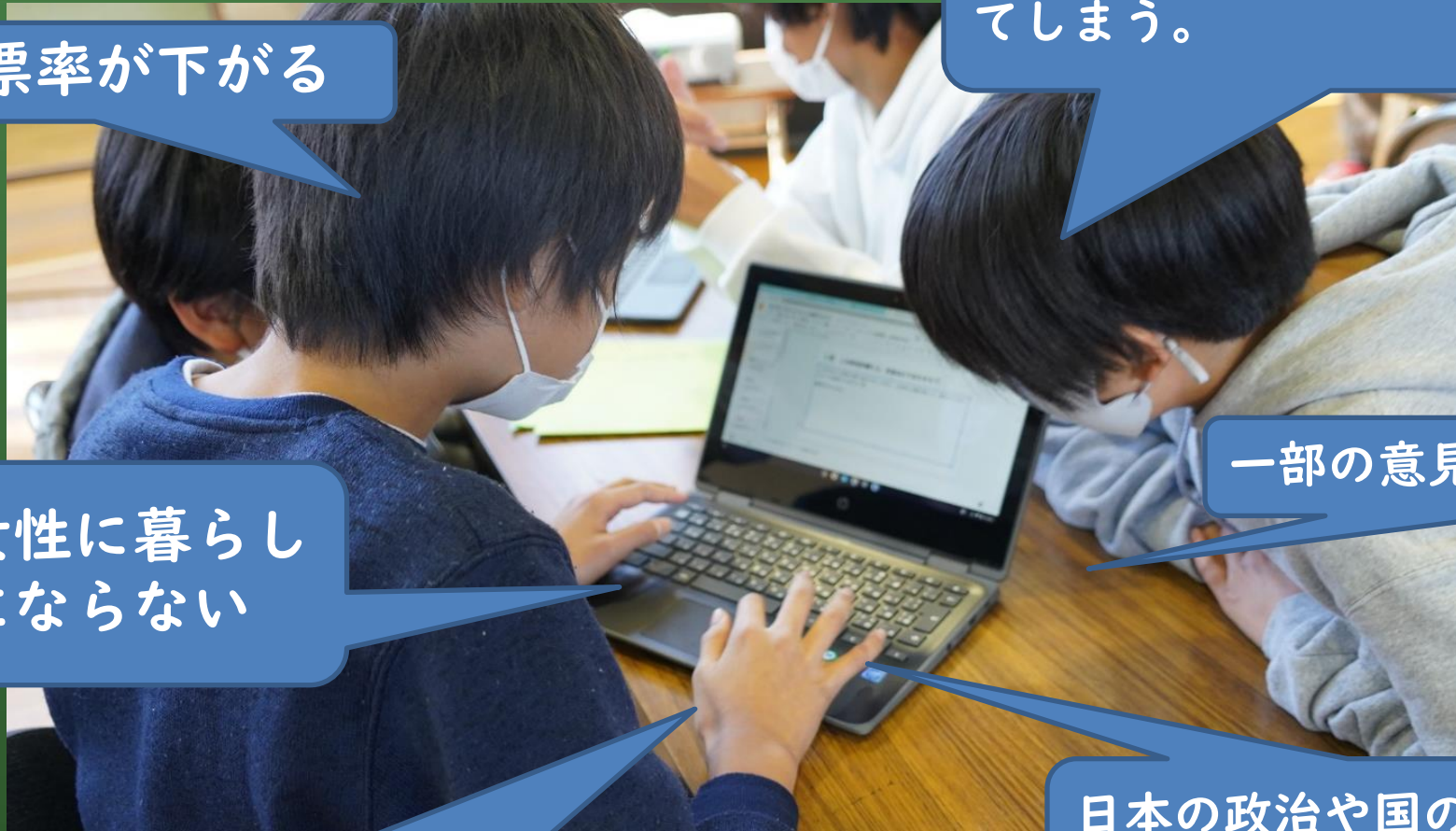
男女平等で女性に暮らしやすい社会にならない

歴史が繰り返されないか心配

若者の意見よりも高齢者の意見に偏ってしまう。

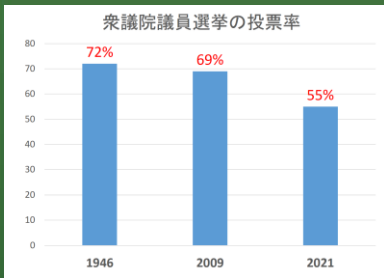
一部の意見しか反映されない。

日本の政治や国の評価が下がってしまう

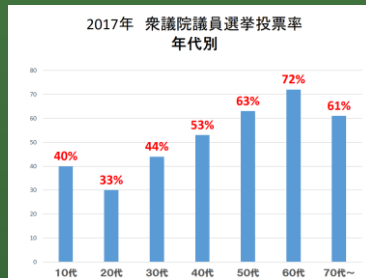


学習問題 日本にはどのような課題があるのか

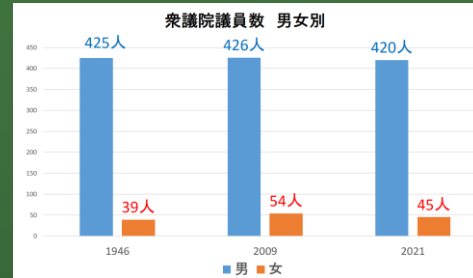
少子高齢化対策 新型コロナウイルス対策 **選挙の投票率の問題**
働き方、失業率、都市への人口集中、人口減への取り組み



投票率が下がっている。



高齢者の投票率が高い。
若い人の投票率が低い



ほとんど男性の議員で、女性の議員の数が少ない。

女性の議員の数は、昔から低く、現在も大きな変化がない



選挙権 25歳 → 20歳以上

男女に選挙権

日本国憲法ができた。



国民主権・基本的人権の尊重

この状況がつづく日本はどうなりそう？

さらに投票率が下がる

男女平等で女性や暮らしやすい社会にならない
若者の意見よりも高齢者の意見に偏ってしまう。
一部の意見しか反映されない。

歴史が繰り返されないか心配

日本の政治や国の評価が下がってしまう

よりよい社会をつくるために、
これからの日本は何を大切に
するべきか？

グーグルスライドの共同編集機能の活用

1班 これからの日本は何を大切にすべきだろうか

- ・歴史が繰り返されるかもしれないから選挙に行くことは大切にすべきだと思う
- ・選挙は大争 やっと歴史の中で国民主権、基本的人権の尊重などの民主的な選挙ができたのに、このままだとまた歴史を繰り返しをて
- ・選挙が大切だと思うなぜなら国民の声をたくさん聞いて政治に生かして問題を減らせると思うから。
- ・「選挙が大争だと思う。だから自分も選挙ができるようになったら選挙をする。
理由：このままだと日本はまた歴史を繰り返すかもしれない。また女性もこの前のような生活になるかもしれない」

3班 これからの日本は何を大切にすべきだろうか

- ・国民に、昔の日本の課題や歴史を知ってもらい、国民に選挙することを呼びかけ、今の国の課題を共に考えていき歴史を二度と繰り返さないことが大切。
- ・今の日本人は戦争中の日本を知らないから、選挙の投票数が減っているのだと思う。だから、今の日本人は昔の日本の歴史を知ってもらうことが大切だと思う。
- ・昔の男女の差別とか戦争中に苦勞していた人がたくさんいたことを知ることを大切にすべきだと思う。
- ・不平等をなくすために選挙は大切だとおもう

国民に主権がやっと移ったので、国民が自分たちの国を自分たちが良くしていこうという気持ちをもつことが大切だ。

まずは、国民は投票に行くことが大切である。それは、国民がよりよい社会をつくる責任があるからだ。歴史を学ぶことで、人々の苦勞や努力を知り、それらを忘れないことが大事。



日本は、どのような国ですか？

1. 先進国 2. 経済大国 3. 人口減少 4. 高齢化

5. 教育水準の高さ 6. 技術力の高さ 7. 社会の安定

8. 自然環境の良さ 9. 文化の豊かさ 10. 国民の質の高さ

目次 この状況が続くと、日本はどうなる？

- 高齢者にとってメリットがある政策がたくさんで、若い世代にとってメリットがない社会になってしまう
- 産業が落ちてしまったら国益が損なわれないか？
- 海外から見たら日本は常連の数が少ないので、男女不平等な国とみられ、日本の評判が下がり、海外の関心がなくなる。

目次 この状況が続くと、日本はどうなる？

- 高齢者にとってメリットがある政策がたくさんで、若い世代にとってメリットがない社会になってしまう
- 産業が落ちてしまったら国益が損なわれないか？
- 海外から見たら日本は常連の数が少ないので、男女不平等な国とみられ、日本の評判が下がり、海外の関心がなくなる。

台東区立忍岡小学校 光眞 喬先生
石塚 理栄子先生

「私たちがつくる未来の世界」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【本小単元で目指す児童像】

- ・ 我が国は、国際連合の一員として重要な役割を果たしていることを理解している子供
- ・ 我が国が、国際社会において果たすべき役割などを考えたり、選択判断したりして、適切に表現している子供
- ・ 学習したことをもとに、今後我が国が国際社会において果たすべき役割や、生活を見直し、自分にできることを主体的に取り組もうとする子供

【教材について】

「国際連合の働き」

ユニセフやユネスコ、平和維持活動（PKO）など

「我が国の国際協力」

ODA、NGOによる取組

「SDGs 達成に向けた取組」

国連サミットにおいて合意された、
持続可能な開発目標

- ・教材分析の視点
- ・社会の課題を把握し、発展や関わり方を考えることにつながるような教材の工夫



忍岡小学校 実践の紹介

①主体的に問いを追究する工夫

- ・子供が問いをもち追究意欲を高める工夫

【内容や方法の選択】

SDGsの17の目標の中から、自分の興味・関心を示すものを選択し、その目標の達成に向けた取組を調べる。



【協働的に取り組む】

個々で調べた内容を発表し伝え合い、SDGs全体の概要を捉える。



【学びを振り返る】

課題を解決するための方法をグループで考え、話し合う。
選択・判断しながら、よりよい解決方法を考える。



忍岡小学校 実践の紹介

物を大切に使う。「2番」は、世界中の人に与えることはできないけど、食べ物を残さないとか、毎日気をつける。団体とかじゃなくても取り組めることを少しずつ取り組んでいく。

差別の問題は今差別を受けている人はどうなるんだということになっていく。まずは1人で、意識を変えることから取り組んでいきたい。



少しでもきれいになるようにゴミを回収する。ちょっとでも海が豊かになればいいなと思った。

レジ袋を断るとか、エアコンの温度を気をつけるとか、身の回りのことからできると思う。

6年部会 成果と課題

成果

- ・ 子供同士の対話的な活動や問いを工夫したことで、社会的事象の意味を多角的に考えることができた。
- ・ 歴史学習に地域教材を取り上げたことで、追究意欲が高まり、歴史の学習内容と現在の自分たちの生活とのつながりに関心をもつことができた。
- ・ 一人一台端末を活用して個別に学びをすすめたり、協働的な学びにつなげたりすることができた。

課題

- ・ 子供が自分の学びを振り返り、学習調整する場面が不十分だった。
- ・ 子供の学びを確かにする評価の工夫についてさらに研究を行う必要があった。

ご清聴ありがとうございました。